

会 議 録

会議の名称		第 12 回さくら小学校開校準備委員会		
開催日時		令和 8 年 1 月 21 日（水） 開会 16：30 閉会 18：10		
開催場所		栗原交流センター ホール		
事務局（担当課）		教育局 学務課		
出席者	委員	渡辺 オリエ、海老原 仁美、鶴田 真希、大崎 純一 三石 祐季、岡部 智恵、荒巻 翔(代理)、大畠 ひろみ 飯塚 ちはる、中里 香織、雨宮 怜、関 美智子 山田 智久、桜井 聡史、仙波 航、君和田 裕之 飯塚 真由美、中原 卓治、沼野 武		
	事務局	学務課課長 森田 信道、学務課課長補佐 望月 ひろみ 学務課係長 大友 博幸、学務課主任 篠原 周平		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0 人
非公開の場合はその理由				
議題		1 保護者組織について		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開 会 2 議 事 保護者組織について 3 その他 4 閉 会			

< 審議内容 >

1 開会

事務局：ただ今から第 12 回さくら小学校開校準備委員会を開催いたします。

議事に入ります前にお願いをいたします。本日の委員会は、AIにより議事の文字起こしを自動で行うシステムを使用しております。このため、大変お手数ですが、御発言の際は、マイクを御使用くださいますようお願いいたします。それでは、これより議事に入りたいと思います。議事の進行につきましては、委員長にお願いしたいと思います。よろしくようお願いいたします。

委員長：それでは、会議の進行をさせていただきます。

本日は傍聴の方はいらっしゃいますか。

事務局：おりません。

委員長：承知いたしました。

それでは議事に入りたいと思います。

では議事に入りたいと思います。

本日の議事は、保護者組織について、また、その他として、家庭教育学級について、さくら小学校への車での送迎についてがございます。

本日は会場の予約が19時までとなっておりますので、終了時刻18時を目指して会議を進めていきたいと思っております。

まず、はじめにその他の家庭教育学級について担当課の方からお願いします。

生涯学習推進課：それでは私の方から家庭教育学級について御説明させていただきます。

家庭教育学級がどういうものかについてはなんとなくイメージがついている方もいらっしゃると思いますが御説明させていただきます。

まず家庭教育学級って何ということなんですが、保護者様が子育てに関する知識やスキルを深めて、親同士で学び合い、交流を深める場となっております。

子どもの成長過程での子育ての悩みや不安など、専門家の講演や保護者同士の交流を通じて子育てのヒントを得ることができる場となっております。

学びの場であるとともに、私どもも大切にしている保護者同士の交流を深める重要な場となっております。

現在、栗原小学校、栄小学校、九重小学校についても実施しておりまして、令和6年度、令和7年度の実績を資料の2枚目に載せてあります。

他の学校での例を見ますと、多くはPTA組織から役員を選出していただいて家庭教育学級を応援していただいているケースが多い状況でございます。

さくら小学校におかれましても家庭教育学級の方、引き続き開催をお願いしたいなというところでございます。

説明は以上になりますがなにか御質問はございますでしょうか。

委員長：ご説明ありがとうございました。

皆様の中から、どうでしょうか、お聞きしたいこととかありましたらお願いします。

はい、ではないようですので、家庭教育学級につきましてはこちらでよろしいでしょうか。

はい、どうもありがとうございました。

生涯学習推進課：ありがとうございました。

委員長：では続きまして、議題にあります保護者組織についてお話を進めたいと思います。

まず事務局の方から資料についてご説明をお願いします。

事務局：はい事務局です。

参考資料 1-1 は栗原小学校さんから連携いただいたアンケート案です。

アンケート内容についてこちらを基にお話しいただき、アンケートの内容を協議していただければと思います。

参考資料 1-2 は直近の新設校に聞き取りした保護者組織の状況です。こちらは参考として御確認ください。

参考資料 1-3 は学校の諸経費の一覧です。栗原小学校さんからいただいたものになります。こちらも協議の参考までに御確認ください。

参考資料 2 については後程ご説明いたします。

委員長：それでは、保護者組織アンケートについて、お話し合いをしていききたいと思います。

まず、内容について、資料をご覧くださいくために3分ぐらい取りたいと思いますので、一度目を通していただければと思います。

それでは、ご覧いただいたアンケートの内容について、追加、削除、変更等がありましたら御意見をちょうだいしたいと思います。

委員：よろしいですか。

Q5のところ、会費についてどのように考えますかとありますが、選択肢がたくさんあるんですが、これは左側が最初に出てきた案で、これだと用途を明確にすべきというのが内容として違うのではということになるかなと思いましたが、今より多く集めるとかの右側の選択肢をつけさせていただいております。これは全部この中から選ぶというものではなくて、左と右のどちらかを設問とするということで記載をしております。

この場でちょっと検討できれば、もしくは折衷案などがあれば検討したく書いております。

以上です。

委員長：ありがとうございます。

今の意見ですと、左側か右側か、どちらから1個選ぶってことですか。

それとも、左側から1個、右側から1個選んでくださいってことですか。

委員：基本的には左か右かどちらかを設問とした方がいいのかを選ぶことになるかと思います。

ただ、左の方で用途を明確にすべきとかを聞くのであれば、別の項目にした方が回答はしやすいのかなと思います。

委員長：はい、ありがとうございます。

それについて何か。はい、お願いします。

委員：このアンケートの原案をまとめたのが栗原小学校の保護者組織だったので、私から補足させていただきます。

元々の案は左の1列だったんですけれども、これだとそぐわないところがあるかなということで学校の方で右側のところを追加してもらいました。

ただ、今3つの小学校は金額がばらばらだと思うんです。

なので今より多く集めるという基準が学校によって変わってきてしまうので、それで1-3の資料があると思うんですけど組織の方がまとめてくれた者があるので、これを基に今より多く集めるとか、同じぐらいではなくて、200円から500円とか具体的な金額を載せてもいいのかなと思ひまして、こういった資料を用意させていただきました。

ただ九重小学校はわからなかったのと、栄小学校はインターネットでは見ることができたと思うんですが。

例えば年額いくらぐらいだったら、みたいな設問とかそういうのもいいのかなと思っています。

以上です。

委員長：はい、ありがとうございます。

九重小学校の PTA 会費ってどれくらいですか。

委員：九重小学校の児童会費は年額 1200 円で PTA 会費は世帯で年額 4200 円です。

委員：栄小学校はサポーターズに加入している世帯が年額 3600 円ということで間違いないです。

委員長：ありがとうございます。そうですね。

学校によって金額に差があるので右側の聞き方だと曖昧な感じにはなりませんかね。

委員の皆さんがもしお答えになるとしたら、右と左ってどちらが答えやすそうか。

お1人ずつお伺いしてもいいですか。

委員：私は今会費がいくらかもわかっていないので、私であれば左です。

今がいくらなのかすぐにはわからないと思うので。

委員長：はい、ありがとうございます。

委員：私も左の方が答えやすいかなと思います。

ただ、少額であればいいっていう少額というのも金額の幅があるので難しいかなと思います。

委員：両方聞いてもいいのかなと思います。

右側で聞くのであれば 200 円、300 円から 500 円とか具体的な金額を入れるとわかりやすいのかなと思いました。

委員：必要であれば問わないけれども、用途を明確にすべきだと思っている場合は 2 つ付けたいと思うんですね。

複数選択可であればいいんですが、もし 1 つを選ぶとなるとどうすればいいのかなとか、金額に絞って右側で聞いてしまうとか。

用途を明確にするというのを別の質問にすれば左側でいいのかなと思っております。

委員：正直こんなに学校によって差があるっていうのを保護者の立場だった時は実感がなかったんで、このぐらいお金だったらできそうかなっていう選択肢があればというのと、あとは用途を明確にすべきとか選択肢として別にあればつけやすいのかなと思います。

委員：選択肢がいくつああって、そこに考えが述べられるものがあればいいのかなと思います。

その中に、具体的に金額が月 200 円とか書いてあると良いのかなと思います。

委員：私も会費は、ある程度の金額を載せた上で左の形で聞いていった方がいいのかなと思います。

委員：基本的には左側の選択肢を出して、ただ用途を明確にすべきというのが、これを答えない人はいると思うんですがこの設問にあっていない気がします。他は金額のことを聞いているのでカテゴリが違うかなという気がします。

なので、「用途を明確にすべき」を抜いた選択肢にして、「どのように考えますか」にして自由記述の選択肢を入れて、さらに上から1番目、2番目の「必要であれば問わない」、「少額であれば良い」という回答を仮に1と2としたら、1、2を答えた人には具体的に「いくらぐらいの金額がよいか」という金額の幅の選択肢をだして、1、2と答えた人が具体的な金額を答えられるような質問にしたらいんじゃないかと思いました。

委員：左か右かと言われれば、私も金額を把握していなかったので左の方が答えやすいかなと思いました。

ただ、やっぱり自由記載もあったほうがいいかなと思います。

委員長：皆様ありがとうございました。

やっぱり、御意見を伺っていて、先ほどのあったように、「用途を明確にすべき」というのがちょっとカテゴリが違うっておっしゃったところは、私もこの扱いがもしかしたら迷う方もいらっしゃるのかななんて思っておりました。聞かれていることが、「どのように考えますか」ですので、これがあってもおかしくはないのかなっていうふうに私は読んでいたんですけど。

はい、お願いします。

委員：そうしたら、「これをどのように考えますか」という問を、「いくらぐらいがいいですか」じゃないですけど、言葉が思いつかないんですけど、そもそも質問を変えた方がいいでしょうか。

それであれば何かこうどれくらいのお金を取る、取らない、もし組織を作るのであれば、おそらく取らないっていう選択肢はないんじゃないかって思うんです。

多分、今、どこの学校でもだと思うんですけど、保護者組織って結構その費用

の面で学校をサポートしているというのもあると思うんです。

保護者組織のメリットとしてやっぱり保護者からの費用を集めることで、子どもたちに還元できる、学校に還元できるというメリットがあると思うので、どれくらいだったら許容するか。

実際に今、栄、九重、栗原がばらばらというところをみると、人によって感覚が違うかもしれない。

もちろん、自分がいくら払っているかっていうのもわからないかもしれませんが、それが1人200円なんだったら高いと思うのかじゃないんですけど、何かそのあたりをちょっと聞いてみてもいいのかなと思って、費用については項目を入れた方がいいんじゃないかということで入れたんですね。

ただ、ちょっとこれだと具体的な金額として、少額っていくらなのってなってしまうので、この辺りをどうするか。

ただ、どのように考えますかという問い方だと人によっては必要だったら払うという方がいるかもしれないし、払うのであれば用途を明確にしてほしいと考える方がいると思うので、そこが、そもそもこの部分をどのように考えますかではなく、会費についていくらぐらいだったらみたいなことで、具体的な金額書いた方がいいと思います。

世帯で払うとして、今の幅を考えると、栗原は月200円。栄が300円。九重が400円ないくらいになるので、例えばそのぐらいの幅を気にするかどうか、200円だった栗原が300円になって気にするかどうかですよ。

あと栗原は昔に費用を下げたっていう経緯があるので、ちょっと細かいんですけど、今の各小学校の目安で200円以内はどうかとか。

ただ実際に細かく今ここで決めるわけではないので、保護者の皆さんがどう思っているのかを聞きたいと思うんですけど、100円単位で聞くのが細かいという事であれば、例えば少額なら（100円程度）と入れておくのかでもいいのかなどは思います。

委員長：このお金を徴収する範囲も4月になってからの話にもなるのかなと思うんですけど、関わってくるのかなというふうに思うんです。

資料1-2でご提示いただいているように、研究学園小中の場合は同意している方から。香取台小は後援費とありますが全員かはわかりません。みどりの南は保護者会には全員入っているとあるので全員払っているのかな。

お金については4月スタートでいいのであれば聞かないか、お考えを伺うという事でもいいのかなと思います。

もし、必要であれば先ほどおっしゃったようにそこに自由記述を設けて、これぐらいだったらみたいなのを書いてもらうとか、選択肢を設けておいて、選んでもらうとかっていうふうにするのは、まとめる事務局さんは大変かもしれないですけど、どうですか。

事務局：最終的にそれを参考資料としたときに、100円が何票、200円が何票、300円が何票というものよりは、おっしゃっていただいた通り、200円程度がいいよという方がこれくらいとわかるように聞いていったほうが良いのかなと思います。

金額について聞く部分と、考え方を聞く部分を分けることもできると思いますし、ある程度用途を明確にすべきとか、安ければ安いだけいいなと思うことはあると思うので、そこについては金額をしぼったアンケートにしてもいいのかなと思いました。

委員長：今の御発言だと会費をもらう事が前提かなっていうふうに受け取ったんですが、そういうように進めてよろしければ今おっしゃった案でいいのかなと思います。

委員：確かに今の話を聞いたらここは金額のことだけでいいと思いました。

ただ集めることを前提とすると、支払い事自体も難しいという方いるので、選択肢の最初に会費は不要というのをいれて、その下に金額を入れた方がいいというのと、あともう1つ、先ほど委員長からちょっと話あったと思うんですが、資料を見ると同意している方からしかお金を集めていない学校とか、逆に全員から徴収しているとかある中で、お金を払うんだったら入らないという人もいるかなとも思うので、会費を徴収する対象にすることについて皆さんどう思っているか。

一方で全員PTAに入るとか、任意加入型とか質問があって、一方で会費については全員から徴収する形前提で進めちゃうっていうのが何かしっくりこないで、保護者組織は任意加入とすべきだけでも、ボランティアとかの活動に協力はできないんだけど、活動を支援するための資金を支援することはできると考えている人もいるだろうし、その辺りがうまく言えないんですけども、そのあたりを問うようなことって必要ないでしょうか。

委員長：御意見ありがたいです。

そういうところで項目について御検討いただければと思うのですがどうでしょうか。

委員：作っておいてなんですけども、Q3の全家庭加入型ってあるじゃないですか。

それは今、問題ないんですかね。

私の認識では強制力はないということで、基本的に保護者組織って全加入にするのは無理な気がするんですね。

作っておいてなんなんですけども。

ですので、ここの従来型っていうのは、入れていいものかなと思ってしまっています。

そうするとそもそもが任意じゃないかって話なんですがいかがでしょうか。

事務局：おっしゃる通りでPTA組織等については任意加入の組織でありますので、全員強制加入ですよということは言えないところですし、あまりそれを従来ですとして出すのもどうなのかなというのがございます。

先ほどあったように活動はできないけど、皆さんの活動のために全員が払うものですよという決まりを作るとか、そういったところは学校の徴収金の中の話として同意できるところもあるのかなと思ひまして、もしかしたらQ2とQ3という部分でいわゆるPTAを作るのか、サポーターズみたいなものを作るのかというところと、それに対してお金の徴収ではどう払うのかということについてはあるのかなと思います。

委員：Q1については在籍している学校に確認してもいいのかなと思います。

Q2については保護者組織に括弧PTA等と入れたんですけど、等という事で保護者組織が必要かどうかという考えも聞くんですけど、Q3に関しては原則任意加入という事であれば、ここにPTA組織なのか、栄小みたいなサポーターズなのかの方が分かりやすいのではないかなと思ひました。

あとは保護者組織の規模について聞いてもいいと思いますし、会費については、会費のご協力がいただける場合みたいな感じで、もし保護者組織に加入いただける場合、どの程度の会費でしたらと聞く。

加入するのはあくまで任意なので。

お手伝いはできないけれども、お金は払ってもいいという人は、加入になると思うんですよ。

基本的に加入することイコールお手伝いすることではないということが根本的になければいけないんですが、入ったとしても何もやらなくてもいいんだとしたらお金の面だけであれば、なにかやりたいですっていう方もいるかもしれな

いし、栗原もPTAが任意になったり、他の学校とも考え方が違うので、アンケートをそれぞれ違う考え方で答えてしまうということもあると思います。

なので、ちょっと今難しいな思っています。

とりあえず3番についてはどうでしょうか。

今のPTA組織っていうものはどういうものかは分かると思うんですが、そのサポーターズっていう表現でわかりますかね。栄小さんの保護者の方なら分かるのかな。

今の栗原、九重、栄の保護者組織の資料を簡単にまとめたもの用意できるのであれば、その活動ごとに保護者が参加する形かその他っていう項目でもいいのかなと思ったんですが、資料を見て、ご理解いただけるのか。

そうすると各学校で出せるようなものを用意していただくのかなと思います。

どうしても三学校が集まるので、元々の自分がある学校が基準になってしまうので、そこをすり合わせてアンケートをとるっていうとなるとやっぱりなにかしらの参考資料はあったほうが回答しやすいのかなと思いました。

あと、ついでに6、7については何となく、こういうという形で、こういうのをやってもいいかなと思う人がどれくらいいるのかなと思ったので入れたかったです。

あともう一個、活動には参加できないって入れた方がいいのかなと思います。

参加を希望しないってした人は7番の問いには答えなくてもいいかなと思いました。

多分、これくらいだったらやってもいいという人がどれくらいいるか。

保護者組織もそういう感じだったらいいというのを把握するのにQ6とQ7を入れてみたんですけど。

ちょっと会費の部分について、良い書き方と言うか、聞き方があれば伺いたいです。

それとも会費は入れなくて、お金のことは後で決めるのか。

委員長：そこをこの場で協議できればと思うので、ただ、やっぱり3学校が一緒になるってことなので、先ほどがおっしゃったように、それぞれの学校の保護者組織の資料があればQ3についても答えやすいでしょうし、3校のそれぞれの活動を、もうワンペーパーぐらいで要するに1ページ分ぐらいにまとめて、それを添付するっていう形だったら、あとはQ6、Q7あたりも、具体的なイメージがわくのかなっていうふうに思いました。

金額については資料の中に入れ込めれば3学校共通のところを選び出して書いて、これとこれは書いてくださいってして、それプラスアルファはもう学校に任せるみたいな資料であればいいのかなっていうふうに思ったんですけど、もしくは、この資料ではあくまでもそのお考えを聞くにとどめて、金額の高さに関しては、4月の検討委員会が立ち上がってから改めてっていうことで。

徴収が4月からにはならなくなりますけど、それでもいいのかなと思いました。

委員：このアンケートQ2のところ、どちらでもいいという選択肢は除いていいのかなと思いました。

必要、どちらかという必要と答えた方についてはQ3に進んで、組織について問うのかなと思いました。

組織の在り方として、本部と各種委員会または、本部のみ、本部とボランティアというような、組織の構成をどういうのにしていくかを希望とっていけばいいのかなと思います。

その中で、Q4、Q5となっていくので、組織が必要ないと答えた方にQ3から下を答えさせるというのはどうなのかなと感じるんですけども、Q2からの枝分かれかなと思いました。

委員：PTAに参加できるかというところで迷ったことがあるんですが、地区委員をやったことがあるんですけど、地区委員よりもハードルが高いなと思って

いました。あと、地区委員を次の年度の方をお願いした時に断られ続けたのが一番嫌だったんですが、例えば会費協力であれば、全く協力しないということではなかったの、会費に関してのことというのは入れておいて方が良いと思います。

保護者組織の活動に参加できないけど、会費に関しては協力しますっていう人はいると思うので、そういった方を取り出せると思うので、そういったアンケートの項目があってもいいのかなと思います。

委員長：ありがとうございます。

その他に御意見はありますか。

委員：先程おっしゃっていただいた、加入したら何かをしなければならないということについて、私はそう思っていなかったの、さっき知ったところだったんですね。

この前提が入ってたほうがいいんじゃないかなというところがありまして、九重は子どもが6年間の間に本部役員を1回はやらなくてはならないっていう認識なんですけど。

九重小学校の人はそれをしなきゃいけないと思っているという事があるので、前提をはっきりしておいた方がいいのかなと思いました。

委員：私も今の意見に同感で、やっぱりこのQ2の部分保護者組織でどんなことをやるのかっていうこと、理解が本当にばらばらだと思うので、Q2はそのままでもいいんだけど、Q3のところ、具体的なPTAの例えばさっきおっしゃった本部と委員会からなる組織とか、どのような形っていうものの具体的な組織内容を選択肢に出すっていうことと、入ったら何かをやらなければいけないかどうかっていうところをきちんと明記してアンケートを取った方が良

いと感じました。

委員：一応アンケートの上に保護者組織とはどういうものでというのを作っちゃっていたので、無理のない範囲で任意に学校や子どもを支援するための協力の仕組みですってちょっとは入れてみたんですが今、栗原にいるからこう読めるんですけど、栗原ではない人が見たら無理のない範囲ってなんだろう、1回はやるんでしょってなってしまうと思います。

これは自分たちの仕組みを前提に作ってしまっているんで、そもそも答える基準が変わることによって、このアンケート自体答える意味があるのかなと思ってしまいました。

保護者組織が必要かっていうのも、自分の学校のものを想定して答えてしまうと思うので、保護者組織の説明からしなければならぬと思います。

例えばどんな保護者組織、どういう組織だったらあなたは関わりたいと思いますかの方がわかりやすいでしょうか。

おそらく皆さん手伝いたくない、やりたくないと思っているわけではないと思うんです。

やれる範囲だったら協力するんだけど、これを1年間やってくださいとなると気が引けてしまうとかがあると思うんですね。

せっかく手伝ってもいいと思っている人がいるのに、組織の在り方のせいでその辺りがうまく発揮されないというのはすごいもったいないというのを感じています。

ボランティアをやってくれる人は多いのに役員はやりたくないとか、違う形だったらやってくれることが多いので、みんなもっと手伝ってくれるんだなというのを何かこう、みんながもっと手伝いやすい、先生も頼みやすい、みたいなのを勝手にイメージしていて、それがどうやったらできるかというのは中々実現できないんですけども、そういう意味でも、どういうのだったら手伝えます

かっていうのを確認したくて後半は少し脱線するなと思いつつも質問を入れたところもありました。

もしくは今回は検討委員会をやる場合に参加していただけるかのアンケートにする。

それだとどうですかね。

その中で3学校の資料は入れておいて、今はこういう状況です。

今後、このばらばらな状況なので新しい学校の時に保護者組織を作るかどうか。

作った場合はどのような保護者組織にするかも含めて検討委員会を開いた場合、参加していただける方はいますかと聞いた方がすっきりしますか。

細かくどう思っていますかっていうのは検討員会で検討してもらってもいいんですか。

委員：ちょっとまとめると、まず前提として3学校で保護者組織の在り方が違う。

その保護者達が一つの学校に統合される。

それで今後どういう形の保護者組織をとっていきますかということが前提ですね。

ですので、添付の3学校の資料をご参考頂きながらご回答ください。

あなたのお子さんはどここの学校ですか。

保護者組織は必要ですか。

必要と感ずる場合、どのような形が望ましいと考えますかというところでは先程あったように本部だけとか、本部とボランティアとか具体的な組織内容を書いた選択肢にして、いったらどうでしょうか。

簡単なアンケートにして、その後の検討委員会で検討していけばと言ってくれたんですけど、聞ける部分は聞いておいてもいいのかなと思います。

せっかく作っていただいたところも聞いていいのかなともいます。

検討委員会の時にも参考になるので、これは聞いた方がいいと思います。

委員：私もそれがいいと思って、あなたたちのPTAは今こうだけれども一回それを忘れましょうって言ってしまって、新しい組織を作り上げましょうっていうことでやってもらえればと思います。

九重は九重で1年頑張ればいいみたいなメリットもあったので、どっちがいいかというのは人によるので、これまではこうだったけど新しいものを作りましょうということであつたので先程の意見に賛成です。

委員長：学務課さんの方で今の御意見を集約していただいて、フラットな立場で作っていただいた方がいいと思います。

今からまたどうですかって聞くと、思いがいろいろ溢れてくると思うので、ちょっともう、こここのところで一旦まとめるといいのかな。

せっかく作っていただいたものなので、この形は踏襲していいと思うんです。

2つ目のところに保護者組織とはっていうのもあるので、こここのところは自分の学校のこと、それからその3学校の添付資料を見ていただいた上でご判断いただければいいのかなというふうに思うんです。

まだ意向調査の段階なので、そんなに深入りしなくていいのかなと思うんです。質問項目については必要か、どちらかという必要と答えた方が、下の質問の方を答えるっていう形にしたほうがシンプルなのかなっていうふうに思ったんですけど、ただ、必要じゃないって思っても、自分はこんな参加だったらできるよっていうふうにQ6のあたりを答えたいという方もいるのかなと、自分でも色々と揺らぎながら考えていました。

いいですか、この後学務課さんの方をお願いをして。

最終的にはアンケートをまとめていただくのは学務課さんなので、まとめやすい形で作成いただければと思うんですが。

事務局：作成はするとして、実施スケジュールについてお話しておきたいんですけども、2月5日がさくら小学校の新入生説明会とすると、そこで新1年生のスクリレ登録が次の週までにはできると思うので翌週あたりからスクリレで展開して、次の委員会が3月になるので、2月20日あたりを期限に考えています。

委員長：2月9日から20日までということですね。いかがですか。

だいじょうぶですかね。

他に御意見がなければアンケートについては、こちらで終わりにしたいと思います。

では、保護者組織のアンケートについては以上にしたいと思います。

続きまして、参考資料2この地図のもので、こちらについてご説明をお願いします。

事務局：事務局です。

前回の委員会の際に、さくら小学校の車送迎ルールについてお話したいとの御意見があったため、現状の教育委員会の考えとして資料を作成いたしました。

教育委員会としては近隣住民への配慮などを考えまして、右上の駐車場を保護者送迎用で考えておりまして、右下の入り口が教員用の駐車場。

左下の門は車の出入りはしないで、子どもの登校用ということで考えております。

ただ、これは教育委員会としての当初利用の想定ですので、これが絶対というわけではございません。

開校後はさくら小学校の中で利用方法を運用していくと思いますので、何か御意見があればお願いいたします。

委員長：ご説明ありがとうございます。

何か御意見があればお願いします。

委員：確認なんです職員の方の西駐車場の正門と同じ並びのここは基本児童は出入りはしないですよ。

児童も出入りを想定しているのは西と正門の2か所でいいですよ。

今建設しているところを実際に見ているんですが、プールに近い方と校舎に近い方の門っていうんですかね。

それは入り口が2つあって分かれていたんですよ。

片方は子どもが通って、片方は車が通るみたいな。

教職員駐車場のところだけ、間のブロックとかがなかったんですよ。

だから、その2か所は子どもが入ることを想定されている。

ただし、校舎から遠い道路沿いの門に関しては、入り口は一つしかないので、ここは車しか入ることを想定していないのかなと思ったんですがそれはどうですか。

事務局：おっしゃっていただいた通り、教育施設課、設計の想定としては車だけが入って行って職員が利用するイメージで、左側の門は右上、東側駐車場は保護者様が使えて、お子様が登校していただく門でしてこの真ん中の校舎棟というところの下端のところ、正門からまっすぐ行ったところが昇降口、お子さんの入っていくところなのかなというところなので、西側駐車場から入っていくルートでは想定されていないのかなと思います。

委員：こちらの門、車も入れますといった門から子どもが入った場合は、その中をうまく通って行って昇降口までいく感じですか。

事務局：そうですね左下の方から入った場合には体育館横に通路があるので、駐車場と動線が分かれております。

委員：保護者に関しては、一番大きな門のところで左折で入って、中で降りして左折で出るという想定ですね。

それだったら特に問題ないのではないかと思うんですけど、ちなみにこの職員でない方の駐車場は何台もあるように見えるんですが、子どもを送るときは駐車スペースに止めて子供と一緒におろして昇降口まで送る。

一度きちんと止めて送迎するという感じですよ。

事務局：その辺りについては、どのくらいの利用があるかにもよってくるので、実際のさくら小学校の利用の中で決まっていってしまうものかなと思います。

50台強の駐車場がありますので、一斉に来ることがなければ駐車場に止めていただくことも考えられるのですが、こういった仕組みになるのかは実際に始まってみての部分と、ある程度回って出るというのはできますが、道路の状況に影響あるかというところも考える必要があります。

ただ運用というものは設計上決まったものではないということはお伝えしておきます。

委員：そうしたら2月に新入生と在校生向けに説明会があるので、その時に、現時点で保護者が送迎する場合はこの門に左折で入って、左折で出るという案内は先にしておく。

止め方とかについては今後の混雑具合とかを見て今後決めていくということで合っていますか。

事務局：そうですね。

教育局としてはそういった御案内になるかと思っております。

委員：今、50台とおっしゃっていたのは東側の駐車場ということでしょうか。

事務局：正確な数字は出ないんですけども、私が申しあげたのはその駐車場です。

委員：西側駐車場は何台ぐらいになりますか。

委員：この間別の方にお聞きしたんですが、教員と保護者を全部合わせて115台と聞いております。

委員：では細かい数字は大丈夫です。

あともう二、三点。

給食の配膳車はどこから入る想定ですか。

事務局：校舎棟の一番上のあたりに止めるスペースがあったかと記憶しております。

裏側が配膳車の搬入口となっておりますので、資料の右側の動線から入って裏にいきます。

委員：あと校外学習等のバスはどこから、どっちから乗り入れる想定でしょうか。

事務局：校舎の西側の道路はあまり大きい道路ではないので、基本的には正門から入ってなのかなと思います。

ただ安全上こっちのほうがというのがあれば、運用上変更してもらえればと思

います。

委員：ありがとうございます。

最後に、グラウンドに直接車が入る門というのはありますか。

事務局：先日、栗原小学校さんからも質問がありまして、教育施設課に確認したところ、さくら小学校についてはグラウンドに車が入れる作りにはなっていないとのことでした。

委員：最後ですが、救急車はどこから入るんですか。

緊急車両の動線はどういう想定をしていますか。

事務局：こちらは私も正確なところを把握はしていなくて申し訳ないんですけど、参考資料の校舎棟の下側が校長室とか保健室になっておりますので、どちらからしか入れないというふうにはなっていないです。

委員：今ちょっと細かいところまで伺ったんですけど、それによって一般車両を制限しなければいけない可能性もあったりもするので、それも踏まえて議論ができればなあというふうに思います。

委員長：ありがとうございました。

他に御意見はありますか。

委員：もう一回確認したいんですが、右下の門から子どもたちは入ることはできないんですか。

事務局：そうですね。

想定では車のみ出入りするものとなっております。

委員：ということは信号を渡っても正門まで戻って正門から入るしかないということですか。

事務局：現状につきしては正門からの入場という形になっておりますので、東側から来る児童はこの交差点を渡ってから正門へ戻るということになります。

委員：色々と問題になってくるのが正門から子ども達が入ってくるのと、車が入りするというところで、交通整備とかはあるのでしょうか。

委員：図で描くとこんな感じです。

だからルートとしてはこのような入り方という指示だと思うんですが、そうした場合、流星台とかさくらの森の子はわざわざこのクリニックから、遠回りして進入しないとイケないのかってなるんですね。

でも、栄小学校の子たちはここで集合して行っているので横断歩道を渡って正門の方から行くことを想定されるんですが、そうすると車との動線がぶつかるので事故につながってしまうということはどうでしょうかという話をしていたんです。

できればペットのところから渡って絶対に交わらないところを通っていけば、事故の危険性もゼロに近くなるんじゃないかって話していたんですが、先ほどの話でここから入れないとなると、わざわざ職員駐車場前まで行って、戻ってまた正門へ向かうのかっていうのと、かといって最短の道をいくのも、車の接触があるのでちょっと怖いよね、というの考えた場合に、申し訳ないんですが、

できればそこをどうするか。

そうした場合には例えば正門のところは8時までに使って、8時以降は通れるようにするのか、ただ8時ぎりぎりに来てくださって言うのも無理じゃないですか。

かといってこちらが7時45分までに登校していただきって言うのも違うような気がしますし、動線をどうすればいいのかというのが、すごい悩ましいところです。

委員：職員駐車場のところから子どもが入れるようにしても、先生方が入ってくるときに動線がぶつかりませんか。

委員：そうやって考えたときに、小学校の先生方が駐車場に進入するっていつでも何かうまくそこら辺を解消することができるのであれば、職員駐車場の門からの進入ができるといいんですが。

もしもそれができないとなると、春風台の方々と同じようなルートになった場合、このルートも使わないとなると、このスペースは何の意味があるのかってということになりますよね。

逆に言えば、下校の時はうまくその辺りを活用できるのかなと思うんですが、朝の登校の時は絶対に守らなければいけない時間帯で、ルールを作るとなった場合にこの想定を考えたら、正直保護者としては不安でしかないと思います。

委員長：どうでしょう、次回の委員会までに御検討というか関係の課と相談が必要かなと思うんですが。

あとは学校の方で職員が立って安全を見守るというか、あとはもう一度どこから入ったらいいかっていう検討をしなければいけないのかなというふうに思うんですけど。

事務局：西側駐車場部分の使い方について、設計はもう決まっておりますので新たに付けてくださいとかは難しいですが、運用とか、児童が通れる通路についてとかはもう一度確認させていただいて、実質、その門から入った時に校舎まで行けるルートがあるかはきちんとお伝えできればなと思います。

委員長：はい、ありがとうございます。

よろしくをお願いします。

委員：質問ではなくて、お願いなんですけど、今の保護者組織のアンケートの件と、送り迎えのルートを検討していますという件について、説明会までに決まっていないうであればその案内を説明会の中で言っていただけると、気にされている方がいると思いますので、予定などを御説明いただければと思います。

あと桜中学校の方にも今度学校が変わるので自転車を気を付けてくださいという案内を出してもらえないかなと思っています。

今までいなかったところに小学生がいて、すれ違うようになるので、中学校の方にも注意喚起ができないかなということで御検討をお願いします。

委員長：よろしくお願いいたします。

では、事務局の方にお返ししてもよろしいでしょうか。

事務局：委員長ありがとうございました。

アンケートについてはこちらの方で一旦作成させていただいて、委員の皆さまに確認いただければと思います。

次回委員会につきましては、アンケート結果の共有と校歌のお披露目になります。

3月中旬ごろを予定しておりますので、改めて御連絡させていただきますので、よろしくお願ひいたします。

その他何かこの場で話しておきたいことがありましたらお願ひいたします。

委員長：さくら小学校の入学式にかかる写真撮影業者の選定についてということで、お話をさせていただきます。

今年度、栄、九重、栗原の小学校に入っている業者さん以外で、令和8年度の桜小学校の入学式の写真撮影に携わりたいというご希望の業者が2件ありました。

1件は12月のうちに学び推進課へ相談に、もう1件の方は、1月の上旬に学務課の方に相談に出向いています。

その2件から栗原小学校の校長の方にも参入したいと相談がありましたので、学び推進課と学務課の方へ相談いたしました。

回答としては、市として関わる案件ではないということでしたので、桜学園として校長4名で協議をして、それでしたら選定を行う方向でということを決めて、学び推進課と学務課にもこういう方向に進めたいと思いますので共有をして、今のところ進めています。

参入したいというお返事があったところには、こちらで選定をするための資料としてお手紙を出してあります。

最終的には、参入希望する業者さんの方から見積もりを提出していただいて、それを基に桜学園の校長4名で選定を行うという方向です。

今回の選定はあくまでも令和8年度の入学式のみということは、各業者さんにお伝えしてあります。

その後の学校との契約、継続的な契約とか、あと6年生のアルバムの撮影とか作成に関することは、また新しい校長先生とご相談くださいというもお伝えした上での活動になっています。

声をかけた業者さんなんですけども今年は栄の保護者の方が関わっていらっしゃるという事ですがその方は意向はなしですよ。

九重小学校の方がヨシヤ写真館さんなんですけども、こちらは辞退しますということでお返事があったそうです。

栗原小学校はミドリヤさんなんですけども、参入しますということで、もう見積もりの方も、桜中学校の方に提出があったようです。

それから桜中学校の方はミドリヤさんと、もう1件すいませんちょっと忘れちゃって、2件を交代でまわしていますけれども、ちょっとそちらはどうかなってのがわからないんです。

あと、その問い合わせのあった2つというのは、土浦市のオフィスデンザエモンというところと、あと流山市の株式会社ファンモというところですよ。

ですので、今のところ、3つは確実に上がってくるのかなと思います。

今のところは以上です。

見積もりの提出は、1月28日までということにしてありますので、それが集まり次第、校長会の方で検討していきたいと思っております。

以上です。

委員：さくら小学校のアフタースクールについて空きがあるのかを心配している保護者の方がいたので、確認できますか。

事務局：この場では把握できておりませんので、メール等で展開したいと思います。

その他御意見ありますでしょうか。

委員：4月以降のさくら小学校の入学式とかのイベントは、スケジュール等の連絡があったりするのでしょうか。

事務局：4月3日の金曜日、午後になるかと思います。

開校式を開催いたします。

いわゆる来賓の方、開校準備委員会の方やあと、開校に携わってくださった方を招待して開催する予定でございます。

改めて招待状を市の方から送付させていただきます。

始業式は春休みの最終日は4月7日となっておりますので、8日が始業式、9日が入学式としております。

あとは教育施設課が担当なんですが、実際に校舎が完成して、皆さんに向けての内覧会もございます。

そちらも別途、案内させていただきますのでよろしくお願いいたします。

委員長：保護者の方がお知りになりたいのって、4月の最初の学年始めの授業参観とか、学年懇談とかその辺ですかね。

委員：在校生は始業式にいきなり学校にいて、クラスに行くっていう認識で大丈夫ですか。

事務局：そうですね。

その認識で問題ないと思います。

内覧会などで、先にこの学校に通うんだなというところはイメージしていただければと思います。

委員：さくら小学校の創立記念日いつになりますか。

事務局：これまでの新設校についてもどこをもって創立記念日とするかは、各学校で実際に始まってから先生の方で開校準備委員会の設立日や、学校名が条例で決まった日などから、周辺のお休みの日程であるとか、学校の行事の日程な

どをみて決めていっているようです。

事務局：その他ございますでしょうか。

それではないようですので、以上で閉会させていただきます。

以上で、第12回さくら小学校開校準備委員会を終了したいと思います。

ありがとうございました。

閉会